

<p>△産業宣教/金土日時代のやぐら 56 重職者産業人のやぐら(使 1:8)</p>	<p>△RT と TCK 伝道学/三つの庭のモデル 56 レムナントのための重職者のやぐら(使 18:1-4)</p>	<p>△核心/重職者大学院連合礼拝 重職者大学院は秘密決死隊(ロマ 16:25-27)</p>	
<p>始まりをよく見なければならぬ。いくら立派でも、始まりが間違っていれば続けて聞違う。</p> <p>□序論_状況(力 x、経済力 x、未来心配、落胆した状態)</p> <p>1. 別のこと備え-キリストがやぐらをくださった。</p> <p>1) この祈りを続けていれば絶対やぐらが出てくる。</p> <p>2) 旅程を置いて祈れば絶対旅程が見える。</p> <p>3) 絶対道しるべが建つとき、目に見える答え-神様がくださったことを見て、世の中がいついてくるようになり、世の中を生かすようになる。</p> <p>2. また別の理由</p> <p>1) すでに世の中ことが刻印</p> <p>2) 根をおろして信仰生活しているが、聖書にある答えは来ない。</p> <p>3) 体質になる。未信者より劣って、仕える運命に陥る。</p> <p>3. さらに重要なのは<b>次世代</b></p> <p>1) 12 戦略。落とす穴(3)、偶像文化の枠(3)、未信者状態(6)がサタンが作っておいた道だ</p> <p>2) さらに重要なのは 5 戦略(サタンが教会に作っておいた) 雰囲気、世論、要塞(Ⅱコリ 10:4-5)。この世の支配者(ヨハ 16:11-14)、世の神(Ⅱコリ 4:4-5)</p> <p>3) 3 世の中の戦略は衣食住だ。</p> <p>□本論_三つのこと</p> <p>1. 重職者の祈りのやぐら</p> <p>1) 使 1:3 御座の力を味わう時間</p> <p>2) 使 1:14 この契約を受けて降りてきて主日礼拝のとき、集中して祈るのだ。</p> <p>3) 使 2:17-18 未来が見える。</p> <p>4) 使 2:42 使徒の教えを守り、交わりをし、パンを裂き、ひたすら祈りに専念した</p> <p>5) みことばが生きて動くので再挑戦、再生産、再創造が起こる。</p> <p>2. 教会、伝道のやぐら</p> <p>1) 使 2:9-11 重職者を通して 15 か国の門が開かれた。</p> <p>2) 使 6:1-7 大勢の祭司が悔い改めることが起こった。</p> <p>3) 使 7:1-60 重職者一人の殉教で世界の門が開かれた。迫害は始まり。</p> <p>4) 使 8:4-8 重職者を通して門が開かれた。</p> <p>5) 使 11:19 大きな患難で契約を持っている重職者何人かが集まった。アンテオキア教会</p> <p>3. 職業のやぐら</p> <p>1) 使 10:1-45 皮なめしシモンの家にペテロを。</p> <p>2) 使 16:11-14 紫布商人リディアに神様が恵みを</p> <p>3) 使 18:1-4 天幕事業するプリスカ夫婦を神様が祝福</p> <p>□結論_現実<b>は私</b>が何もないうに見える。</p> <p>ロマ 16:25-27 一生</p> <p>隠されていて、ほとんど生命のように重要なとき、それを与えると約束された。それゆえ、皆さんの一生に毎日、働きごとに。</p>	<p>重大院が見るべきこと。レムナントのためのやぐらだ。代表的人物がプリスカ夫婦だ。</p> <p>□序論</p> <p>1. 祝福権</p> <p>1) 牧会者 2) 親</p> <p>3) 重職者はレムナントを祝福する祝福権がある。</p> <p>2. 証拠</p> <p>1) ヤコブの祈り</p> <p>2) ヨケベデの祈り</p> <p>3) ハンナの祈り</p> <p>4) エッサイ-ダビデに成就した</p> <p>5) 初代教会 多くの重職者の祈りが次世代に伝えられた</p> <p>3. 理由</p> <p>1) 三つの庭の主役-とても重要なこと</p> <p>2) 金土日時代の主役-イエス様も金土日に十字架にかけられ復活された。</p> <p>3) 黙想時代の主役-わがわい時代、暗闇文化時代、精神病時代が来る。防がなければならない。</p> <p>□本論_パウロチーム</p> <p>1. 会堂戦略、さまよい(道) -パウロは重要な人物に会った時は会堂に訪ねて行った。ここでキリストの完全性を説明した。レムナントがさまようのは必要な時間、神様が与えられる、その道を見つけるためだ。</p>	<p>2. 人材戦略、困難(必要) -会堂に行き人材戦略を使った。彼らにキリストと祈りが何かを説明したのだ。レムナントが苦しみにあっているように見えるが、神様は必要なことを与えられる。</p> <p>3. 癒やし戦略、孤独(頭) -私たちが苦しみをお互いに話して慰めれば助けになる。霊的には全く助けにならない。霊的成長は絶対に無い。それゆえ、私たちは神様の慰めを受けて、その慰めを持ってほかの人を癒やすなければならない。レムナントが孤独であるのは、神様の前で最も集中して没頭することができる時間だ。</p> <p>□結論_一つ</p> <p>一つ私たちがのがしていることがある。実際には霊的なことを学ぶことができない。レムナントにプログラムも良いが、それではなく、金土日時代に心からレムナントと対話することができるようにしなさい。そうするだけだが働きが起こった。神様が知恵を与えられ、メッセージを与えられる。神様がくださる恵みだ。</p>	<p>レムナントのとき、少しだけ準備すれば皆さんは一生、聖書にある答えを見ることが出来る。牧師はこれだけしななければならない(ただ)。皆さんは秘密決死隊だ。ロマ 16 章の祝福の人々だ。</p> <p>□序論_奥義</p> <p>1. 毎日味わう奥義(7・7・7)</p> <p>キリストがすべての問題の解決者ということは、ほかのことでは解決できないという意味だ。キリストがだれなのかを知るためにこの奥義を持ちなさい。</p> <p>1) 祈り- 24、25、永遠</p> <p>皆さんが少しだけ祈れば刻印されて(やぐら)、答えが出てくる(答え)。祈りの中にいるようになって、ヨセフのように答えを受けてエジプトに行く(24)。行ってみれば神の国が見える。未信者が、主が私とともにおられることを知るようになる(25)。すると道しるべ、作品を建てて、出て来る(永遠)。こうしてこそ秘密決死隊として行くのだ。</p> <p>2. 契約成就する<b>バトン</b>を握るとき、神様が御使い、使い、天の軍勢を送られる。</p> <p>3. 迫害、危機、濡れ衣を着せられたとき、神様は特別な奥義を成し遂げられる。</p> <p>1) 使 6:1-7 重職者を立てて、大勢の祭司が悔い改め</p> <p>2) 使 7:1-60 重職者一人の殉教-全世界変化</p> <p>3) 使 11:19 大きな迫害-重職者を通じて建てられたアンテオキア教会</p> <p>4) 使 12:1-25 もっと大きな患難の時に重職者の一致協力祈り-ヘロデ王を呼んで行かれた。</p> <p>5) ロマ 16:25-27 隠されていることを与えられた。</p> <p>□本論_証人(奥義を知る者、見た者、持った者)</p> <p>1. 主のしもべを助ける秘密決死隊</p> <p>1) 危機を防ぐ特攻隊</p> <p>2) 裏面契約を与えられる。</p> <p>3) 三つの庭、金土日、黙想時代を開ける Holy Mason</p> <p>△副教役者は門を閉ざす教会、死んでいる地域をみな生かさなければならない。これができるように、重職者の皆さんが後から祈りの背景、秘密決死隊になるのだ。</p> <p>2. 現場を生かした宣教師</p> <p>1) コロ 4:7-8 (事情を知って神様の慰めを受けて伝達)</p> <p>2) I コリ 16:18-19 (I コリ 16:18 心を安らがせる者)</p> <p>3) ロマ 16:1-27 (隠されている奥義を持った者)</p> <p>3. 産業に 300%の祝福を受けて未来を生かす指導者</p> <p>1) CVDIP、未来が見える(ヨハ 14:26、16:13、使 1:8)</p> <p>2) WIOS</p> <p>3) OURS</p> <p>4) Always WITHS 常にともにを味わうシステムが作られる。</p> <p>□結論_3 経済回復<b>大路</b>が開かれる。</p> <p>237、5 千種族、TCK・CCK・NCK を生かして、三つの庭、金土日、黙想時代、300%システムが開かれる。</p>
	<p>△散らされた弟子たち/7・7・7 のモデル 56 重職者大学院散らされた弟子(使 11:19)</p> <p>1. 育てるべき 重大院は散らされた弟子を育てるべきで、(一生に 1 人だけでも)</p> <p>2. M.H 育てる家になるべきだ。完全結論だ。</p> <p>3. 宣教師派遣 宣教師として派遣する働きをしなければならない。来ている人、あの現場に行く人。</p>	<p>重大院にこのような答えの門を神様が開いてくださるだろう。</p>	

△区域メッセージ第 10 週 始まりが間違えば、すべてが失敗(創 3:15)	△聖日 1 部 モーセとともにいたように、あなたとともにいる(ヨシ 1:1-9)	△聖日 2 部/237 宣教会献身礼拝 すべての事件は世界福音化のためである(ヨシ 3:1-17)
<p>24、25、永遠、すべてのこと(祝福)、300%(3 キャンプ) 主日には朝から夜まで深い祈りと力を得る時間を作らなければならない。病気が癒やされるほど、確実な私の契約を握るように礼拝しなければならぬ。叫ぶ祈りもしたりもして、私が必ず握るべき契約と、得るべき力を見て、朝、昼、夜に少し祈って礼拝のときに祈るなら、ある日 24、25、永遠が刻印されて、祈りの中で仕事をするようになり、すべてのことが祝福になる。300%は 3 キャンプだ。聖霊が導かれる第 1 キャンプ、聖霊が現場に暗闇を砕かれる第 2 キャンプ、聖霊がほかの人を生かすように未来を案内される第 3 キャンプだ。私たちは「始まり」を正しくしなければならない。</p> <p>□序論_3 時代 三つの庭、金土日時代、黙想時代を開かなければならない。</p> <p>□本論 1. 教会癒やし—一番最初に教会の中に入り込む暗闇の勢力を打ち砕きなさい。癒やしだ。 1) 使 11:1-18 雰囲気ではない。神様のみことばだ。 2) マタ 12:26-30 よく信じるユダヤ人を見て、悪魔が家の中に家を建てたと言われた。 3) ガラ 2:10-20 世論について行くのではない。世論がしばしばユダヤ人の律法を守らなければならないという。 4) II コリ 4:4-5 とても世の中のことが好きだ。それゆえ、この世の神であるサタンに仕えるのか。 5) ヨハ 16:11-14 信仰よりお金がとても好きだ。この世の支配者であるサタンに仕えるのか。</p> <p>2. 原因癒やし 1) 原罪-エデンの園で始まったが神様を離れてネフィリムになって、成功したと思ったがバベルの塔になってしまった。 2) 宗教-うまくいかないと、もがくことが宗教だ。 3) 肉-後には肉体的な問題が来る。</p> <p>3. 根本解決 1) 創 3:15 女の子孫が来てサタン、蛇の頭を打ってしまった。 2) 創 6:14 続けて箱舟の中に入れてくれば生かされるのだ。 3) 創 12:1-3 カルデアのウルを離れて福音の契約を守る地に行きなさい。 4) 出 3:18 完全に滅ぼされることになったとき、血のいけにえをささげに行きなさい。 5) イザ 7:14 危機がくるたびに完全に捕虜になったが、そのときインマヌエルの祝福を味わいなさい。 6) マタ 16:16 あなたは生ける神の子キリストです。 7) 使 1:1、3、8 キリストが復活されて御座の背景を 40 日説明、ただ聖霊で証人</p> <p>□結論_常に答え 1. 御座、神の国、神の国のこと—一番最初に御座の背景が臨んで、神の国と神の国のことが成り立つ。 2. 成就-みことばと祈り、救いは今も成就している。 3. ひとり-ひとりが家系を生かして、国を生かして、世界を生かす。</p>	<p>□序論_モーセとともにいたように、あなたとともにいる。モーセは死んだが、神様のみことばはなくなるならない。</p> <p>1. モーセとともにおられた神様を見た-モーセを見たのではない 2. 神様のみことばが成就したことを見た-モーセに起こった奇跡を見たのではない。 3. 神様の絶対主権、絶対計画、絶対契約、絶対旅程、絶対目標を見た-モーセがすごいと見たのではない。</p> <p>△このようなヨシヤはカナンまで入った。恨む人はいなかった。あちこちに世界の人々が生かされるのに値する道しるべを建てた。神様はモーセが死んだ後に、もっと大きな契約を与えられた。</p> <p>□本論_証人 1. 見た者-モーセとともにいたこと 1) 三つの祭り-過越祭(血を塗った日解放)、五旬節(荒野の道に行くことができる力)、仮庵祭(御座の背景) 2) 契約の箱-石の板(なくなるならみことば)、マナ(イスラエルを食べさせられる)、アロンの芽が出た杖(幕屋中心) 3) 幕屋中心で行くイスラエルを火の柱、雲の柱で保護-いのちをかけて礼拝して福音を伝えなさい。</p> <p>2. 持った者-正確な契約 1) ヨルダンを渡すようにする(2 節) 2) わたしがあなたがたに与えている(3 節) 3) この契約を握って、右にも左にもそれなければ、どこへ行っても栄える(7-8 節)</p> <p>3. 知る者-未来 1) 一生の間にあなたの前に立ちほだかる者はいない(5 節) 2) 強くあれ、雄々しくあれ(6 節) 3) わたしが命じた(契約を正しくすることがすべて)恐れてはならない。おのいてはならない。あなたの神、主があなたとともにいるのだから(9 節)</p> <p>□結論_証人 300% -モーセとともにいたようにあなたとともにいる。 1. 過去(土台)、今日(証拠)、未来(福音化)準備 2. 絶対やぐら、絶対旅程、絶対道しるべ準備 3. 正確な契約を握りなさい。24 祈りなさい。神様が皆さんになさろうとすることは、別にある。</p>	<p>私たちが暗闇から出るのが神様の最も大きなみことばだ。そして、征服しに行くのだ。その間にヨルダンを渡れと言われた。これを分かれば、すべての事件は世界福音化のためであることを知るようになる。この目が開かれることが習慣にならなければならない。すべての困難で答えを見つけ出せば、私の人生のやぐら、旅程、道しるべがひっくり返る。私の人生の優先順位、人生の理由を知っていれば困難は過程になる。</p> <p>□序論_信仰 1. 10 の奇跡で出エジプト(血のいけにえという信仰を育てるために) 2. 紅海-イスラエル民族が難しい荒野の道を歩いていく信仰、カナンの地に必ず行くという信仰が必要 3. 荒野 1) 三つの祭り-救われた者を聖霊が導かれて御座の力で守られる。 2) 契約の箱-永遠に変わらないみことば、アロンの芽が出た杖(礼拝するときに現れる力)、マナ(保護) 3) 幕屋中心にすべての力がみな成し遂げられた。 解放-暗闇から解放されなければならない。</p> <p>□本論_ヨルダン(過程を成し遂げる事件)-全世界でうわさを聞いた人に福音を刻印させる事件(ラハブ) 1. 重要なことに会ったときは、契約確認の道に立ちなさい。みことばは永遠で、今も生きて働く。 1) 紅海を渡った先祖は死んだ。 2) ヨルダンを渡りなさい。すべての民は契約確認するところに立ちなさい。 3) カナンの地へ行くこと 4) 絶対計画 5) 絶対目標だ。 △契約確認の道に立てば、みことば、祈りの答え、伝道の流れが見える 2. 契約成就の道に立ちなさい。契約の箱について行きなさい。 1) 重職者(2 節)-伝達しなさい。 祭司(3 節)-契約の箱を担いだ者について行きなさい。契約の箱の主人は神様 証人を立てなさい(12 節) - 12 人を先に選抜 2) 行動しなさい。 祭司は神様のみことばを握って先を行きなさい(6 節) 入れば分かれる(8、13 節) 水が完全に分かれた、その地を実際に渡った(17-18 節) 3) 確信-祈って求めたことは受けたと信じなさい。</p> <p>3. 契約伝達の道に立ちなさい。 1) イスラエル全体に力が与えられる(12 節) 2) 7 部族が心がしなえて震える事件(10 節) 3) 全世界にうわさ △苦難-証拠を作る時間、暗闇は心がしなえて震える時間 □結論_記念碑を建てなさい。困難は記念碑になる。 1. 237 2. 5000 3. TCK, CCK, NCK 4. 三つの庭 5. 金土日(集中時代) 6. 黙想時代 7. 300%インターンシップの場 △本当に信仰があればヨルダンを分ける必要はない。紅海、ヨルダンを分けられた理由はイスラエルに信仰を植えて、多くの人が福音を聞きなさいということだ。暗闇に陥った敵が戦う準備をしているが、崩れるようにされるのだ。</p>